

2026

授業計画（シラバス）

杉野服飾大学 服飾学科

4年次（2023年度生）

モードデザイン

白木 ゆみ香

服飾学科 モードクリエイションコース 4年 前期 必修 (1単位 演習)

授業の方針・概要

モードデザインでは、モードデザインで学んだデザイン力を元に、卒業時まで学んでおいて欲しいスキルを、総合的に学習します。デッサン力やデザイン力の向上を目指し、各種コンテストにも積極的に参加していきます。この授業では、モードクリエイションコースにとって必要不可欠な、「デザイン力」や「表現力」を鍛え、就職活動でも使えるポートフォリオや自身の学生時代の作品集製作なども併せて学修します。

到達目標(学修成果)

自分の研究テーマやコンセプトに沿ったデザインを、イメージ通りに表現出来る力を身に付ける。企画書を作成できる技術を身に付ける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この教科は、モードクリエイションコースの必修科目で、卒業要件の単位となります。ファッション業界で活躍できる専門力向上に資する科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

- ・作品課題の提出は、教室またはデザインCG研究室(研究棟1F)まで、指定された日時までに提出のこと。
- ・PC関係はデスクトップ上の配布提出BOXへデータでの提出。
- ・作品課題の返却は、採点后、教室にて返却。・試験はなし。・プレゼンテーションにて発表の際に講評あり。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	60%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	10%

教科書

必要に応じてプリント配布。

教材「Fashion Illustration Sheet」「Fashion Ruler」

参考文献

MODE Et MODE、各種専門誌。

オフィスアワー・研究室

【前期】木 15:30~17:00 【後期】木 15:30~17:00

【研究室】デザインCG研究室(研究棟1F)

備考

進捗により、日程および内容の変更あり。必要と思われる展示会や美術展などの見学あり。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 白木	YKKファスニングアワードに向けて デザイン発想 (アイデアスケッチ)	予習: シラバスを読む 予習: 図書館・インターネットにて資料収集。	60分
2回 白木	デザイン発想 (コンセプトシート+デザイン画+ハンガーイラスト)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
3回 白木	デザイン発想 (コンセプトシート+デザイン画+ハンガーイラスト)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
4回 白木	全国ファッションデザインコンテスト デザイン発想 (アイデアスケッチ)	予習: 図書館・インターネットにて資料収集。	60分
5回 白木	デザイン発想 (コンセプトシート+デザイン画+ハンガーイラスト)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
6回 白木	デザイン発想 (コンセプトシート+デザイン画+ハンガーイラスト)	復習: 作品課題を完成させる。	60分
7回 白木	デザイン発想 の作品のプレゼン発表	予習: プレゼン準備。	60分
8回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 卒業制作のコンセプトシート作成	予習: イメージ画像の準備	60分
9回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 卒業制作のデザイン画スキャン・着色	予習: デザイン画の準備	60分
10回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 卒業制作のデザイン画着色・レイアウト	予習: 素材集め	60分
11回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 カラー展開・素材やパターン配置	復習: 資料の整理	60分
12回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 その他の作品まとめ。	予習: 資料の整理	60分
13回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 プレゼン資料作成	復習: 作品課題を完成させる。	60分
14回 白木	Photoshop・Illustrator・Power Point 作品集作成 プレゼン資料作成	復習: プレゼン準備。	60分
15回 白木	Power Point 卒業制作を含む各自の作品集 プレゼン発表	予習: プレゼン準備。	80分

卒業制作 (モード)

安部 智子、中村 枝里子、設水 彩加

服飾学科 モードクリエーションコース 4年 前期 必修 (4単位 実験実習)

授業の方針・概要

各自のイメージを服飾造形作品として表現するために、研究テーマを定め、調査や試作・考察を行い、テーマの妥当性を探ります。授業は実習を主としたアクティブ・ラーニングで行います。作品を制作する上で重要なデザイン・パターン・素材・テクニックなどの関連性を十分に考え、各自の研究テーマに基づいた作品を教員とのディスカッションにより多方面から検討します。完成した作品は制作プロセスをまとめた資料と共にプレゼンテーションを行い、最終的に卒業制作研究要項にまとめます。また、知的財産権、要項における引用ルールなど研究倫理について改めて理解を深めます。

到達目標 (学修成果)

パターンや縫製の知識と技術を学修することで、各自の「イメージ」を的確に「服飾造形作品」としてつくり上げる創作力を身につけることが可能となる。また、作品制作プロセスを通して、課題解決の考え方を修得することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はモードクリエーションコース専門科目 (服飾関係) 必修科目として卒業認定に関わる要件科目である。また、ディプロマポリシーの専門教育課程コース別教育目的と目標の達成に資する科目である。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

作品、課題、プレゼンテーションに対しては、個別のディスカッションや講評を行いフィードバックする。事前調査やレポート、プレゼン資料などの提出は、学内システムのキャンパスマジック (学生ポータルサイト) を使用する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題 (プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題 (プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じ資料を適宜配布する。

参考文献

ドレメ原型、 PATTERN MAKING 、 SEWING 、 基礎テキスト、 杉野服飾大学Online text服飾造形編 その他

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示。
研究室：研究棟3F 6032A (中村) 6032B (設水) 6033 (安部)

備考

日程および予定は、授業進度などにより、変更することもある。
準備学修の必要時間はあくまで目安であって、各自課題の進捗状況にあわせ必要な時間を確保して欲しい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 各自	卒業制作 スケジュールなど説明 研究倫理について 各自の研究テーマ検討 ディスカッション・調査	予習：シラバスを読む 研究倫理について調べる 卒業制作に関する資料を準備する	90分
2回 各自	卒業制作 各自の研究テーマの検討 ディスカッション・調査・検討 卒業制作研究要項について	予習：卒業制作の研究テーマに関する検討 復習：ディスカッションの整理	90分
3回 各自	卒業制作 各自の研究テーマの検討 各自の研究テーマに基づき研究を進める	予習：研究テーマに関する調査と検討 サンプル制作 復習：ディスカッションの整理	90分
4回 各自	卒業制作 各自の研究テーマの検討 各自の研究テーマに基づき研究を進める	予習：研究テーマに関する検討・サンプル制作 復習：ディスカッションの整理	90分
5回 各自	卒業制作 各自の研究テーマの検討 研究テーマについてディスカッション	研究状況を確認し、ディスカッションの準備をする ディスカッションの整理	90分
6回 各自	卒業制作 各自の研究テーマの検討 研究テーマについてまとめる	予習：研究状況を確認し、研究結果をまとめる 復習：ディスカッションの整理	90分
7回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 デザイン検討 パターン作成	予習：研究状況をまとめ、デザインを考案する 復習：パターン作成	90分
8回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 パターン作成・点検 トワル作成	予習：パターンを完成させる 復習：トワル作成準備	90分
9回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 トワル作成 トワル補正 個別ディスカッション	予習：トワルを作成し、補正の準備を進める 復習：ディスカッションの整理	90分
10回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 トワル補正・サンプル作成 個別ディスカッション	予習：トワルを作成し、補正の準備を進める 復習：ディスカッションの整理	90分
11回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作準備 実物補正・個別ディスカッション	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
12回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 実物補正 制作	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
13回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作 途中経過確認 (個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
14回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作 途中経過確認 (個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
15回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作 途中経過確認 (個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分

卒業制作 (モード)

安部 智子、中村 枝里子、設水 彩加

服飾学科 モードクリエイションコース

4年

前期

必修 (4単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
17回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
18回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
19回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
20回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
21回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
22回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
23回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
24回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
25回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
26回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 最終点検 作品完成	最終点検を受け、作品を完成させる	90分
27回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品1 プレゼンテーション・講評	予習: プレゼンテーションの準備	90分
28回 各自	卒業制作 前期制作作品(作品1)のまとめ	予習: 前期の課題を振り返り、まとめる	90分
29回 各自	卒業制作 前期制作作品(作品1)のまとめ 後期制作作品(作品2)についての検討	復習: 後期制作作品に向け課題を検討し準備する	90分
30回 各自	課題1 グループワーク作品制作実習	復習: グループワーク作品を進める 夏季休業中の課題を検討する	60分

卒業制作 (モード)

安部 智子、中村 枝里子、設水 彩加

服飾学科 モードクリエーションコース 4年 後期 必修 (4単位 実験実習)

授業の方針・概要

前期に引き続き、各自の研究テーマに基づき、個々のイメージを服飾造形作品として表現するための的確な方法を研究し、作品制作を行います。授業はアクティブ・ラーニング(実習・ディスカッション)で展開します。完成した作品について、1/5大製図を含めた全てのプロセスを卒業制作研究要項にまとめます。また、ファッションショー形式の発表会の企画・運営を行い、服飾に関する幅広い知識を得ます。さらに知的財産権、要項における引用ルールなど、研究倫理について改めて理解を深めます。

到達目標(学修成果)

パターンや縫製の知識と技術を学修することで、各自の「イメージ」を的確に「服飾造形作品」としてつくり上げる創作力を身につけることが可能となる。また、作品制作プロセスを通して、課題解決の考え方を修得することができる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目はモードクリエーションコース専門科目(服飾関係)必修科目として卒業認定に関わる要件科目である。また、ディプロマポリシーの専門教育課程コース別教育目的と目標の達成に資する科目である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

作品、課題、プレゼンテーションに対しては、個別のディスカッションや講評を行いフィードバックする。事前調査やレポート、プレゼン資料などの提出は、学内システムのキャンパスマジック(学生ポータルサイト)を使用する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じ資料を適宜配布する。

参考文献

ドレメ原型、 PATTERN MAKING 、 SEWING 、 基礎テキスト、 杉野服飾大学Online text服飾造形編

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：第1回目の授業で指示。
研究室：研究棟3F 6032A(中村) 6032B(設水) 6033(安部)

備考

日程および予定は、授業進度などにより、変更することもある。
準備学修の必要時間はあくまで目安であって、各自課題の進捗状況にあわせ必要な時間を確保して欲しい。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 安部	課題1 グループワーク作品制作	予習：シラバスを読み後期のスケジュールを確認	60分
2回 安部	課題1 グループワーク作品制作	復習：グループワーク作品を進める	60分
3回 安部	課題1 グループワーク作品制作 作品完成 大学祭での展示プランを検討する	グループワークを完成させる。大学祭で展示発表を行い、外部の評価を得る	60分
4回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 デザイン確認 パターン作成・点検 トワル作成	予習：パターンを完成させ点検の準備をする 復習：トワル作成の準備をする	90分
5回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 トワル作成 トワル補正 個別ディスカッション	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
6回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 トワル補正・サンプル作成 個別ディスカッション	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
7回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作準備 実物補正・個別ディスカッション	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
8回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 実物補正 制作	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
9回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
10回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
11回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
12回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
13回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
14回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
15回 安部	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分

卒業制作 (モード)

安部 智子、中村 枝里子、設水 彩加

服飾学科 モードクリエイションコース 4年 後期 必修 (4単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
17回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
18回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
19回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
20回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品2 制作 途中経過確認(個別ディスカッション)	途中経過点検に向けて準備をする 点検結果を踏まえ作品制作を進める	90分
21回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品2 最終点検 作品完成	最終点検を受け、作品を完成させる	90分
22回 各自	卒業制作 作品制作実習 作品2 プレゼンテーション・講評 発表会の構成を検討する	予習：プレゼンテーションの準備 卒業制作発表会の構成を検討する	60分
23回 各自	卒業制作研究要項執筆 全作品の1/5大製図をまとめる 点検 清書・完成	1/5大製図をまとめ、清書し完成させる	90分
24回 各自	卒業制作研究要項執筆 プロセスをまとめ、執筆準備をする	資料を整理し、卒業制作研究要項の執筆を進める	90分
25回 各自	卒業制作研究要項執筆 要項執筆 点検 ディスカッション 修正	資料を整理し、卒業制作研究要項の執筆を進める	90分
26回 各自	卒業制作研究要項執筆 要項執筆 点検 ディスカッション 修正	点検を受け、卒業制作研究要項をまとめる	90分
27回 各自	卒業制作研究要項執筆 要項執筆 点検 ディスカッション 修正	点検を受け、卒業制作研究要項をまとめる	90分
28回 各自	卒業制作研究要項を完成させ、提出する	卒業制作研究要項を完成させる	90分
29回 各自	卒業制作発表会準備	卒業制作発表会のプランを確認し確定する	90分
30回 各自	卒業制作発表会準備 まとめ・講評	卒業制作を振り返る	60分

テキスタイルデザイン

土岐 千春

服飾学科 テキスタイルデザインコース 4年 前期 必修 (1単位 演習)

授業の方針・概要

テキスタイル業界において自立した職業人として活躍できる人材になるよう、生地知識のまとめと商品化・流通について業界の現状と今後の展望について解説する。講師の企業実務に基づき、実際のプランニングの実例を通して素材開発・デザインのポイントを修得する。

到達目標(学修成果)

主要素材の設計方法が理解でき、目的にあったデザイン展開を自らのアイデアをもとに企画立案、提案、プレゼンテーションまで表現が出来るようになる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

課題レポート提出、筆記試験について返却時に講評する

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

適宜プリント配布

参考文献

図書館内資料等

オフィスアワー・研究室

テキスタイルデザイン研究室(3011) 前期：火曜日(9:00～12:10)

備考

テキスタイルデザイン の単位を取得していること

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 土岐	テキスタイルデザイナーの役割と企画、生産の現状 SNS、ECと実店舗の関係性や商品化におけるポイント	テキスタイルプランニングの業務内容について リサーチする	60分
2回 土岐	主要素材の特徴と生産背景、国内の主な産地と素材の特徴 欧米と日本の服飾の歴史と主な技法・表現について	国内産地の分布と特性についてまとめる	60分
3回 土岐	国内外のテキスタイル展示会の解説と業界の構成と流通、店頭 と企画シーズン、トレンド予測について	トレンド予測の基礎として定点観測、市場調査 のポイントをとまとめる	60分
4回 土岐	著名なテキスタイルブランドにおけるテキスタイルデザインの 位置づけとファッションとの関係	テキスタイルブランドについてリサーチする	60分
5回 土岐	素材の分析を通し原料の特徴、生産方法、生地の特徴と適した 用途をとまとめる 天然繊維(羊毛・綿・麻)合繊等	主要素材と特徴をとまとめる	60分
6回 土岐	・スワッチシートの作成、素材分析、調査	素材分析の方法、調査の手順をとまとめる	60分
7回 土岐	・設計書、委託を前提とした依頼書の作成、適した用途を想定 した絵型作成	適した用途について画像などを集め具体的な表 現が出来るようにする	60分
8回 土岐	・分析、調査した素材の発表と、用途の提案をプレゼンテーシ ョンする	主要素材の特徴と実用的な用途をとまとめる	60分
9回 土岐	ロープレ【発注と生産】実際に生地の生産をする場合に設計書 、依頼書に示す方法と相手への伝え方	伝えること、確認することをまとめる	60分
10回 土岐	プリント、ジャカード、レースなどの意匠と後加工による表現 について	意匠素材の表現、生地の後加工についてリサ ーチする	60分
11回 土岐	SDGsの取組と現状、今後の展望について グループ研究 アップサイクル等SDGsのアイデア作成	SDGsの現状についてリサーチする	60分
12回 土岐	言葉の表現とデザインの関係、画像、動画を含むプレゼンテー ションと表現の伝え方	研究発表のシナリオを作る	60分
13回 土岐	コンセプトマップの作成を通してテーマ設定やプレゼンテーシ ョンの方法、ビジュアル表現のポイントを解説	他者に伝えるために必要な項目をとまとめ資料を 準備する	60分
14回 土岐	・プレゼンテーション 課題提出	コンセプトの伝え方、ビジュアルの必要性につ いてまとめる	60分
15回 土岐	まとめ	学修したことを振り返りまとめる	60分

卒業制作 (テキスタイル)

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 4年 前期 必修 (4単位 実験実習)

授業の方針・概要

卒業制作のためのテーマを各自のイメージから追求、理解、決定をし、デザイン考案、制作プロセスや作品完成シミュレーションを行い改善を図る。これまで学んだ知識・技法に加えリサーチをすることで適切な素材や技法を選択し、実物制作につなげ、完成までのプロセスを理解したうえで自立した制作を行う。作品は展示・プレゼンテーションを行う。作品点数は年間シリーズで2点とし、前期は1作品を制作する。

到達目標 (学修成果)

自らの卒業制作テーマに従い、素材・技法研究、制作プロセス、完成形をイメージし自らの手で完成させることができる。オリジナル性の高いテキスタイル作品を完成させるため、コンセプトから自身で行い、積極的な制作とスケジュール管理をすることができること。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

作品制作プロセスごとの確認。作品、ポートフォリオ、プレゼンテーションについて講評をする

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

適宜配布

参考文献

適宜配布

オフィスアワー・研究室

水曜日 (15:00~17:00) テキスタイルデザイン研究室 (3011)

備考

- ・テキスタイルデザインコース科目3年次までの単位を取得していること
- ・各自スケジュールを立て、授業外を含め授業外制作を積極的に行うこと

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 田口	卒業制作作品のテーマ、コンセプト、技法、素材についてリサーチ結果の面談(ディスカッション)および検討	(予習) 卒業制作テーマ設定のためのリサーチを行う	120分
2回 田口	コンセプトの具体化 デザイン修正	(予習・復習) リサーチの見直しを行い、デザインを具体的にする	120分
3回 田口	素材・技法の検討 調査・検討	(予習) 表現のための技法研究(情報収集)	120分
4回 田口	サンプル作成	(予習) 表現のための素材研究(素材の収集)	120分
5回 田口	サンプル作成 記録・比較	(予習) 作品設計書を確認しておく	50分
6回 田口	サンプル制作 再検討	(予習) サンプル作品設計書を確認しておく	50分
7回 田口	サンプル検討 ディスカッション	(復習) テーマ・コンセプトの再構築	50分
8回 田口	設計 材料調達	(復習) 制作のためのスケジュールリング工程の確認	50分
9回 田口	イメージ、サンプル作品、制作工程等について講評会、企画・設計の再検討	(復習) サンプルと作品の現段階を振り返り検討する	60分
10回 田口	卒業制作作品 設計 制作準備	(復習) サンプルの記録から実際への確認、再計算	60分
11回 田口	作品制作	(復習) 技法における素材の扱いや道具について確認する	45分
12回 田口	作品制作 仕上げ	(復習) 完成作品について客観的に観察する	45分
13回 田口	プレゼンテーション準備(展示方法等の話し合い)	(復習) ポートフォリオを作成し、前期作品の工程、完成作品の振り返りを行う	30分
14回 田口	前期作品発表会にてプレゼンテーション	(復習・予習) 画像・素材を確認し、制作プロセスや学修内容を整理する	30分
15回 田口	講評、後期に向けて	(復習・予習) 作品、プレゼンを振り返り、次作品に活かすようまとめる	45分

卒業制作 (テキスタイル)

田口 雅子

服飾学科 テキスタイルデザインコース 4年 後期 必修 (4単位 実験実習)

授業の方針・概要

設定されたテーマに沿って2作品目の制作をする。イメージをテキスタイルとして表現するための的確な表現方法を探り、制作する。コンセプトの設定から完成までのプロセスを振り返り、ポートフォリオとしてまとめる。作品からテキスタイルが自立した作品としてのメッセージを持てるよう、常に振り返りをし、言葉にすることを試みる。

到達目標 (学修成果)

作品制作のためのリサーチと自己分析、制作のプロセスの確認を行い、イメージをよりの確に表現したテキスタイルを作成する。テーマ設定から設計、素材選択、作品完成までのプロセスを他者に伝えるプレゼンテーション能力を身につける。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

テキスタイルデザインコース必修科目で卒業要件科目。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

作品・ポートフォリオ返却時に講評をする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

なし

参考文献

なし

オフィスアワー・研究室

水曜日 (15:00~17:00) テキスタイルデザイン研究室 (3011)

備考

- 卒業制作 (テキスタイル) の単位を取得していること
- 卒業制作口頭発表及び展示発表 (作品2点・ポートフォリオ) をする (2月)
- 平常授業終了後の発表会準備期間について授業内インフォメーションをする

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 田口	卒業制作2作品目のテーマ、コンセプト、技法、素材についてリサーチ結果のディスカッションおよび検討	(予習) 前期作品を振り返り、後期作品をテーマに沿って表現できるよう、事前に準備をする	120分
2回 田口	デザイン考案	(予習) デザインや素材のリサーチ、研究をする	100分
3回 田口	デザイン・素材・技法研究	(復習) 客観的視点を持ちリサーチする	80分
4回 田口	サンプル制作	(予習) リサーチ、サンプル素材の収集	75分
5回 田口	サンプル検討 ディスカッション	(予習) 制作ノートを確認	70分
6回 田口	設計	(復習) 設計書・計画書に沿った制作ができているか確認する	70分
7回 田口	作品制作	(復習) 設計書に沿った制作ができているか確認する	80分
8回 田口	作品制作	(復習) 設計書に沿った制作ができているか確認する	80分
9回 田口	作品制作	(復習) 設計書に沿った制作ができているか確認する	100分
10回 田口	ポートフォリオ作成	(復習) 制作ノートの確認と伝達方法を整理する	90分
11回 田口	作品撮影、画像処理 要旨集の作成 (役割)	(復習) テーマから制作までの画像素材の収集	90分
12回 田口	C Gプレゼンテーション準備	(復習) テーマから制作までの画像素材の収集	75分
13回 田口	C Gプレゼンテーション準備	(予習) 作品制作に伴う事項の振り返りをし、まとめる。	100分
14回 田口	作品仕上げとプレゼンテーション プレゼンテーショングループ練習	(予習) 効果的なプレゼン方法と資料準備を行う	100分
15回 田口	作品仕上げとプレゼンテーション 展示方法グループ討議	(予習) 効果的なプレゼン方法と資料作成を考え準備する	100分

卒業制作 (プロダクト)

肉丸 美香子、野口 和美、大場 有希子、高橋 大夢、中西 洸太

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 4年 前期 必修 (4単位 実験実習)

授業の方針・概要

ファッションプロダクトデザインコースの卒業制作に向け、各自のイメージを基にテーマを決定する。ファッションプロダクトデザイン の授業内容を発展させ、スケジューリング、フローチャートの作成、プレゼンテーションを重ね、最終デザイン案を決定する。これらを通して企画力、デザイン表現力、伝達能力を徹底的に鍛える。作品制作と平行しポートフォリオの作成を行う。以上の内容をより効果的なものとするために、担当者として、日常的に、バッグ、帽子の製品開発・制作を行っている実務経験者による指導を行い学修していく。

到達目標(学修成果)

作品制作のために徹底した資料収集とリサーチを行い、デザインの方向性を探りしっかりとしたコンセプトを構築できるような能力を身につける。リサーチから作品制作まで一貫した流れに基づく物作りが可能となる。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業認定単位となる。ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

プレゼンテーション及び提出物に関しては授業内で講評する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

『鞆・ハンドバッグ・小物』(社団法人日本皮革産業連合会)

参考文献

・BAG DESIGN -A HANDBOOK FOR ACCESSORIES DESIGNERS (FASHIONARY)・工業用ミシンと漉き機の基本操作とメンテナンス (STUDIO TAC CREATIVE)・ファッション工芸講座 帽子基礎編(文化出版局)

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日13:00~14:00

【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階 3409)

備考

卒業制作 の授業は月曜日・火曜日・水曜日の週3回行っている。このシラバスは火曜日の内容である。月曜日、帽子の授業8回(担当 大場)、残り7回(担当 肉丸)/水曜日の授業(担当野口/中西)は火曜日に準ずる。月曜日、水曜日のシラバスは最初の授業時に掲示する。東京レザーフェア、ファッション雑貨フェアなど、各種展示会については授業の中で紹介をする。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 肉丸	ガイダンス 卒業制作(個人)個別面談	予習：シラバスを理解する	60分
2回 肉丸	第1回プレゼンテーション(コンセプト含む)デザイン画 講評とフィードバック	予習：プレゼンテーションの準備	60分
3回 高橋	個別面談：コンセプトの見直し、デザイン修正を行う	復習：コンセプトの見直し、デザイン修正を行う	60分
4回 高橋	第2回プレゼンテーション デザイン画 不織布モックアップ	予習：プレゼンテーションの準備	60分
5回 肉丸	個別面談：デザイン不織布モックアップ修正	復習：デザイン不織布モックアップ修正	60分
6回 肉丸	個別面談：デザイン方向性決定	予習：各自使用素材や提案方法を検討する	60分
7回 高橋	デザイン修正(モックアップを活用し修正を行う)	復習：各自使用素材や提案方法を検討し、デザイン修正を行う	60分
8回 高橋	デザイン修正(モックアップ制作)	復習：各自使用素材や提案方法を検討し、デザイン修正を行う	60分
9回 肉丸	モックアップ制作(素材を使用したサンプル制作)	復習：作品修正など発注に向けて最終確認を行う	60分
10回 肉丸	モックアップ完成 個別面談 進行状況チェック	復習：作品修正など発注に向けて最終確認を行う	60分
11回 高橋	発注前最終チェック モックアップ、材料、サンプル、仕様書を完成させる	復習：作品修正など発注に向けて最終確認を行う、プレゼンテーションの準備	60分
12回 高橋	発注前最終チェック モックアップ、材料、サンプル、仕様書を完成させる	復習：作品修正など発注に向けて最終確認を行う	30分
13回 肉丸	卒業制作(グループ)グループ編成、方向性についての話し合い、スケジューリング	復習：作品修正など発注に向けて最終確認を行う	30分
14回 肉丸	卒業制作(グループ) グループ編成方向性についての話し合い、スケジューリング	習：グループ内での理解を深め、各自コンセプト、イメージソース、ラフ案の準備	30分
15回 肉丸	グループ面談、コンセプト立案(ディスカッション)	予習：グループ内での理解を深め、各自イメージソース、ラフ案の準備	30分

卒業制作 (プロダクト)

肉丸 美香子、野口 和美、大場 有希子、高橋 大夢、中西 洸太

服飾学科 ファッションプロダクトデザインコース 4年 後期 必修 (5単位 実験実習)

授業の方針・概要

グループ制作によりバッグの提案を行なう。グループごとにテーマを設定し、コンセプトに基づきデザインし制作を行なう。ファッションプロダクトデザイン . . . の授業内容を発展させ専門課程各科目を通して学んだ全ての知識、技術、手法を駆使し『作品(プロットタイプ)』の制作に重点をおき、コマーシャルポスター・ポートフォリオ制作を行なう。以上の内容をより効果的なものとするために、担当者として、日常的に、バッグ、帽子の製品開発・制作を行っている実務経験者の指導の基、学修していく。

到達目標(学修成果)

自らの考えを他者に伝えるコミュニケーション能力と共にプレゼンテーション力、更にコンセプトを現実のデザインの中にも的確に表現できる力を身に付けることが可能である。指導教員やグループ内のディスカッションを重ねる事により、自身の考えを他者にしっかり伝えるコミュニケーション能力が大きく飛躍する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

ファッションプロダクトデザインコースの必修科目で卒業認定単位となる。

ディプロマポリシーについては、専門教育課程の科目で服飾造形の基礎力を基に専門職として広く社会に受け入れられる人材の育成を目標とする科目である。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法
プレゼンテーション及び提出物に関しては授業内で講評する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	20%

教科書

・『鞆・ハンドバッグ・小物』(社団法人日本皮革産業連合会)、BAG DESIGN(FASHIONARY)・工業用ミシンと漉き機の基本操作とメンテナンス(STUDIO TAC CREATIVE)・ファッション工芸講座 帽子基礎編(文化出版局)

参考文献

授業の中で紹介する

オフィスアワー・研究室

オフィスアワー：金曜日11:00~12:00

【連絡研究室】ファッションプロダクトデザイン研究室(第三校舎4階3409)

備考

卒業制作 の授業は月曜日・火曜日・水曜日・金曜日の週3回行っている。このシラバスは火曜日の内容である。月曜日/帽子の授業8回(担当 大場)、残り7回(担当 高橋)と水曜日/(担当野口/中西)金曜日/(担当肉丸・高橋)の授業は、火曜日に準ずる。月曜日、水曜日、金曜日のシラバスは最初の授業時に掲示する。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 肉丸	第1回プレゼンテーション(グループ制作) 不織布モックアップ制作	復習: グループのスケジュールに合わせ、各自の作業を確認、スケジュールリング	60分
2回 肉丸	グループ面談: デザイン修正・不織布モックアップ	復習: モックアップを完成させる	60分
3回 高橋	第2回プレゼンテーション(デザイン画、不織布モックアップ)	復習: 修正・確認を行う	60分
4回 高橋	グループ面談: デザインの方向性決定(モックアップ修正、面談)	予復習: サンプル制作のための準備	60分
5回 肉丸	グループ面談: デザイン修正 モックアップ制作	予復習: サンプル制作(不織布)	60分
6回 肉丸	グループ面談: デザイン修正 モックアップ制作	予復習: ファーストサンプル制作(不織布)	60分
7回 肉丸	発注前最終チェック	復習: デザイン修正・確認を行う 予習: プレゼンテーションの準備	60分
8回 肉丸	発注前最終チェック	復習: 最終デザイン画、製図を描く	60分
9回 高橋	外部工場へ発注のための打ち合わせ	復習: 修正案の確認をする	60分
10回 高橋	ポートフォリオ制作 ポスター案を提出する(写真撮影)	予習: ポスター案を考える	60分
11回 高橋	ポスター制作	予習: ポスターの構図を考える(ラフスケッチ)	60分
12回 高橋	ポートフォリオ制作 イメージ、製図、を完成させる	予習: テーマ、コンセプトを確認してまとめる	60分
13回 高橋	ポートフォリオ・パワーポイント制作 カラーバリエーション、デザインバリエーションを完成させる	復習: データを完成させる	60分
14回 肉丸	ポートフォリオ・パワーポイント制作 ポートフォリオの最終チェックを行う	予習: データの確認 復習: 修正し再度チェックを受ける	60分
15回 肉丸	プレゼンテーション・パワーポイント制作 外部評価 課題作品に対する講評	予習: プレゼンテーションの準備	60分

グローバルマネジメント特論

田中 康寛

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 4年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

グローバルマネジメントを履修していることを前提に、さらに深化をさせていきます。経済圏を各種データで理解を深めていきます。そしてグローバル競争の優位化を作っていきます。そのために、AIによる市場予想や需要予測を各自作成をしていきます。自分の言葉でしっかり作成をする。その時にAIも活用します

到達目標(学修成果)

各自が、AIとともに、グローバル競争の優位プランを作成することが目標となります

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

各自がグローバル競争の優位プランを作成できること。さらにそのプランの評価によって評価をします

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

講義の項目ごとにディスカッションを行います。その時にフィードバックを行なっていきます

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	10%

教科書

資料を送付します

参考文献

際経営 第5版 有斐閣アルマ
ホワイトカーの人材育成 東洋経済
オフィスアワー・研究室
講師控室に在籍します

備考

自分の意見としてグローバル経営をいかに行うかを作ることが目的です。講義内の内容だけでなく、さまざま情報を使うようにします

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 田中	グローバル経営、世界市場の構造、多国籍企業のビジネスモデルについて説明	講義内容を復習すると同時に各自自分の考えるモデルを作成	100分
2回 田中	ディスカッション 各自が作成したモデルをベースにグループディスカッション	自分のモデルの修正版を作成 次週提出	90分
3回 田中	グローバル競争優位、AIが変えるグローバル経営、データサイエンスの役割	各自のモデルに当日の講義内容を蒸します	120分
4回 田中	AIによる市場予測と需要予測及び顧客理解	市場予測と需要予測を顧客理解自分のモデルに追加し次週に備えます	120分
5回 田中	ディスカッション 各自作成したモデルをもとにグループディスカッションを実施	自分のモデルに加えることを行います	70分
6回 田中	各自のモデルを発表	他の学生の発表を整理	50分
7回 田中	各自のモデルを発表	他の学生の発表を整理	50分
8回 田中	グローバルSCMとAI	SCMを整理	45分
9回 田中	AI時代の組織マネジメント	AIの位置付けの整理組織とはを整理	60分
10回 田中	各自のモデル発表	組織に関する考え方を含めてモデルの更新	60分
11回 田中	各自のモデル発表	モデル発表で得られた情報を加えてレポート作成	100分
12回 田中	日本企業のグローバル失敗	自分のモデルに加えます	65分
13回 田中	文化と組織の違い 未来のグローバル経営 テスト1回目	文化と組織の違いを理解します。未来のグローバルを参考に自分のモデルを更新	60分
14回 田中	各自のモデル発表	レポート作成 及び復習で更新	120分
15回 田中	各自のモデル発表	全体の復習をします	100分

店舗開発マネジメント論

鈴木 康久、寺井 孝夫

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 4年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本科目は「店舗開発」における新規出店に関連した出店地域の市場調査、立地や物件、店舗設計や開業までの一連の流れを実践的に学習していきます。店舗開発視点で計画と管理、MD・VMD計画策定、店舗設計、事業計画等の模擬演習を行います。また本科目ではグループワーク等アクティブラーニングを主体とした授業運営となります。VMDプラン策定を含むストア計画の部分は連携先企業（VMD業者）が参画し、産学連携型に推進していく授業です。担当教員の長年の実務専門分野（寺井 - VMD計画、店舗創造、改装計画、鈴木 - マーケット・市場調査・ストアプラン構築）を活用した授業内容及び運営となります。

到達目標（学修成果）

- ・実施計画と事業計画作成、立地決定、ストア計画、社長プレゼンまで店舗開発業務全体が実務レベルで学べます。
- ・アクティブラーニングを通じて、自主性、コミュニケーション能力、強調性、ディベート力の醸成が図れます。
- ・グループワークを軸に、価値創造と利益志向力、全員で同じ方向を目指すマネジメント力、プレゼン力の向上を目指す。
- ・成果としてのストアプラン、事前計画書の内容を主要な評価材料とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回グループワークを基本とし連携先企業からのフィードバックを組み入れながら演習テーマへの取組姿勢、各プロセス及び最終プレゼンの内容を基に成績評価を行っていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

指定教科書なし。適宜参考資料を配布します。

参考文献

必要に応じて随時案内します。

オフィスアワー・研究室

出校日：水曜日 FB研究室：第3校舎4階(3402教室)にて16:20～17:00まで

備考

- ・実際のストア計画のデザイン施工業者と小売企業の共業を再現しながら実践的な学習効果を目指しています。
- ・連携先企業の都合によりスケジュールが前後する場合があります。
- ・2回目以降はグループ毎の進捗状況や事業計画内容によりスケジュールが変更される場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 寺/鈴	イントロダクション 授業概要・事業方針（演習に取組む際の前提条件）の発表	予習：シラバスの確認 復習：本日の内容の振り返り	60分
2回 寺井	私たちの事業計画の議論と方向性（コンセプト）の決定 グループワーク：店舗開発コンセプトとロードマップ策定	予習：事業計画、ロードマップ事前構想 復習：本日の取組内容の精度アップ	60分
3回 寺井	マーチャンドライジング計画 / 顧客設定 グループワーク：ターゲット顧客設定、サービス方針設定	予習：顧客、サービス設定の事前構想 復習：本日の取組内容の精度アップ	60分
4回 寺井	マーチャンドライジング計画 / MD設定-1 グループワーク：取扱MD、価格帯、品揃え方針の設定	予習：MD設定の事前構想 復習：本日の取組内容の精度アップ	60分
5回 寺井	マーチャンドライジング計画 / MD設定-2 グループワーク：価格帯、品揃え方針、売上予算の設定	予習：価格帯と売上予算の事前構想 復習：本日の取組内容の精度アップ	60分
6回 寺井	立地設定 グループワーク：立地と物件の調査と選定、決定	予習：出店地域、立地の事前現地調査 復習：本日の取組内容の精度アップ	120分
7回 鈴木	ストアプラン作成の模擬演習（個人・グループワーク） コンセプト、ブロックアウトプラン、導線計画	予習：事前課題の個人ワーク 復習：配布資料の振り返り	70分
8回 寺井	ストア計画 グループワーク：MDの分類と配置、什器レイアウト策定	予習：インプット事項の整理とまとめ 復習：本日の取組内容の精度アップ	120分
9回 寺井	ストア計画 グループワーク：デザイン・施工業者へのインプット	予習：インプット事項の整理とまとめ 復習：本日の取組内容の精度アップ	90分
10回 寺井	ストア計画 グループワーク：売場図面作成、展開方針の策定	予習：商品展開イメージの事前構想 復習：図面、棚割の精度アップ	60分
11回 寺井	ストア計画 グループワーク：VMDの立案とVMDツールの選定	予習：VMDイメージ・ツールと演出事前構想 復習：本日の取組内容の精度アップ	60分
12回 寺井	ストア計画 グループワーク：内装・外装デザインの立案と予算化	予習：内装・外装イメージの事前構想 復習：内装・外装デザインの精度アップ	60分
13回 寺井	事業計画書作成 グループワーク：実際の事業計画書に落とし込み	予習：事業計画書の予習と事前構想 復習：本日の取組内容の精度アップ	90分
14回 寺/鈴	事業計画書作成 グループワーク：事業計画と計画書の辻褄調整・利益確認	予習：マネタイズ可能か否か判定 復習：本日の取組み内容の精度アップ	90分
15回 寺/鈴	社長へのプレゼン グループ発表：店舗開発計画のプレゼンと講評	予習：社長プレゼン内容の整理と調整 復習：授業全体の振り返り	120分

ファッションMD評価システム

長瀬 泰典

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 4年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

本科目では、バリューチェーン全体を通してファッション・MDの業務プロセスを評価する手法を、実務・実践型で取り組む。また、担当教員の実務経験や知見を活かした授業運営を軸としており、ファッション業界において必要不可欠なサプライチェーン全体を俯瞰して捉え、最終消費者へ販売するまでプロセスを具体的に理解し、外部環境の変化と共に変わりゆく業界をPDCAプロセスで自ら新しいアイデアを産み出す必要性が今後重要である事を習得する。なお、本科目ではポータルサイトを使用しICT活用による授業運営を行っている。

到達目標（学修成果）

ファッション業界をバリューチェーンの視点で捉えMD評価システムの必要性を理解する。その結果、PDCAプロセスを用いて常に変化しながら業務遂行を行う重要性を理解することを到達目標とする。また、激変していくファッション業界の変化をどのように捉え、何が重要であるかを自ら考え行動できる実践力を身につけることを到達目標とする。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目で、また卒業要件科目です。最終仕上げ段階であり、卒業時に、他の科目と合わせ、ファッションに関する業務を深く理解することができるようにする。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

毎回授業終了後に振り返りを学内システム（ポータルサイト）にてUPし、テーマ毎に対してフィードバックします。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要に応じて授業内でレジュメを配布。

参考文献

必要に応じて、その都度授業内で提示します。

オフィスアワー・研究室

授業時間の前後30分間 講師控え室に待機

備考

なし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 長瀬	イントロダクション/ファッション業界全体の流れをバリューチェーン目線で捉える	復習 ファッション業界のバリューチェーンを整理する	30分
2回 長瀬	データからみた日本のファッション業界構造_1	復習 各データを再検証し業界構造との相関関係を理解する	30分
3回 長瀬	データからみた日本のファッション業界構造_2	復習 各データを再検証し業界構造との相関関係を理解する	30分
4回 長瀬	SPA業界のビジネスモデル	復習 SPAの仕組みを消費者目線で分析する	30分
5回 長瀬	EC業界のビジネスモデル_1	復習 EC業界の仕組みを消費者目線で分析する	30分
6回 長瀬	EC業界のビジネスモデル_2	復習 EC業界の変化を理解する	30分
7回 長瀬	業界を取り巻く企業の構造	復習 ファッション業界に関わる企業の仕組みを理解する	30分
8回 長瀬	MDとは～アパレル相関図と職種～	復習 アパレル業界におけるMDの立ち位置を理解する	30分
9回 長瀬	MDとは～総合アパレルメーカー編～	復習 総合アパレルメーカーにおけるMDの役割を理解する	30分
10回 長瀬	MDとは～SPA編～	復習 SPAにおけるMDの役割を理解する	30分
11回 長瀬	MDとは～TVショッピング編～	復習 TVショッピングにおけるMDの役割を理解する	30分
12回 長瀬	MDとは～MDの未来と求められる人物像～	予習 11回までの講義を通して自分なりにMDとは何か？を整理する	45分
13回 長瀬	ファッションDX_1	復習 現在のファッション業界のDXを理解する	30分
14回 長瀬	ファッションDX_2	復習 ファッション業界のDXの進化を考えながらどのように変化するか分析する	30分
15回 長瀬	これからのファッション業界の課題と変化	復習 授業を通して今後の業界の課題と変化を自分なりに考えをまとめる	60分

卒業論文 (マネジメント)

鈴木 康久、山田 晶子

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 4年 前期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

コース専門課程を中心とした4年間の学習の集大成として本科目が位置付けられます。卒業論文 では、研究の意義や論文の社会的役割、論文構成等の理解、また企業研究にフォーカスし、情報収集、先行研究調査、資料分析を中心に体系的に論文のフレームワーク全般を学習していきます。前期後半よりテーマの抽出及び検討を繰り返し、最終的に学生各々の卒業論文の研究テーマの主題確定及び研究計画書の策定を目指します。一部外部講師を招聘し卒業論文に対する理解の深化を図っていきます。また授業運営において、主題に対するディベート、グループワークを通じたアクティブラーニングを取入れ理解の深化を目指します。

到達目標 (学修成果)

- 論文構成やその研究展開手法、執筆に向けた各種調査方法や先行研究等の情報収集の手法を習得できます。
- 論文執筆の具体的な取組みを通じて論理的 (ロジカルシンキング) な思考力を醸成できます。
- アクティブラーニングを通じて、自主性、コミュニケーション能力、強調性、ディベート力の醸成が図れます。
- 企業研究を通じたコミュニケーション能力向上や実践的な企業研究手法の知識習得が図れます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目でファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

課題に対するグループワークや個人ワーク、又、個人研究に対して個別指導を通じて各フィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

指定教科書なし、必要に応じ学習資料を随時配布していきます。

参考文献

授業に関連した参考文献を随時紹介します。

オフィスアワー・研究室

授業前後 1 時間、3402教室

備考

授業の進行状況や招聘する外部講師の都合により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 鈴木	オリエンテーション 全体スケジュールや要点の確認、ガイダンス	予習：シラバスの確認 復習：配布資料の振り返り	30分
2回 鈴/山	ファッションビジネス研究 要約、ポイント確認、グループワーク、ディベート	予習：パート の事前学習 復習：各自の課題整理	40分
3回 鈴/山	ファッションビジネス研究 要約、ポイント確認、グループワーク、ディベート	予習：パート の事前学習 復習：各自の課題整理	40分
4回 鈴/山	ファッションビジネス研究 要約、ポイント確認、グループワーク、ディベート	予習：パート の事前学習 復習：各自の課題整理	40分
5回 鈴/山	ファッションビジネス研究 要約、ポイント確認、グループワーク、ディベート	予習：パート の事前学習 復習：各自の課題整理	40分
6回 鈴/山	研究対象の考察 グループワーク、ディベート	予習：事前課題によるワーク準備 復習：各自の課題整理	60分
7回 鈴/山	卒業論文制作の心得についてガイダンス 研究・論文の意義や執筆に向けた心得	予習：次回の課題に対する事前調査 復習：配布資料の振り返り	40分
8回 鈴/山	卒業論文の作成指針 ルール確認、ポイント学習	予習：自身の研究対象の調査・分析 復習：配布資料の振り返り	40分
9回 鈴/山	図書館の活用について 図書館研修、論文検索、資料検索	予習：自身の研究対象の調査・分析 復習：配布資料の振り返り	40分
10回 鈴/山	先行研究・過去の卒論調査	予習：自身の研究対象の調査・分析 復習：各自の研究対象のまとめ	40分
11回 鈴/山	卒業論文：論題・副論題の確認と発表	予習： の発表準備 復習：配布資料の振り返り	40分
12回 鈴/山	卒業論文：論題・副論題の確認と発表	予習： の発表準備 復習：配布資料の振り返り	40分
13回 鈴/山	卒業論文：研究計画策定	予習：研究計画書の準備 復習：各自の課題整理	60分
14回 鈴/山	卒業論文：研究計画策定	予習：研究計画書の準備 復習：各自の課題整理	60分
15回 鈴/山	卒業論文：研究計画書のプレゼンテーション	予習：プレゼン準備 復習：前期における各自の論点整理	60分

卒業論文 (マネジメント)

鈴木 康久、山田 晶子

服飾学科 ファッションビジネス・マネジメントコース 4年 後期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

コース専門課程を中心とした4年間の集大成として本科目が位置付けられます。卒業論文 では、 で確定した卒業論文主題に対する具体的な研究・調査の推進及び制作を遂行していきます。計画に基づいた文献や資料収集、先行研究調査、市場調査、企業研究、個別データ収集を行いながら論文完成を目指します。また企業研究やアンケート調査を通じて自身の論点を明確化させていき、後期後半より査読を通じた論点の確認・整理、平行しながら論文プレゼン発表の資料制作、プレゼン準備を行いながら最終形にまとめ上げ、具体的にプレゼン発表や展示を行い、個々に制作された論文の多面的な確認・評価を行っていきます。

到達目標 (学修成果)

- 論文制作過程全体を通じて、情報収集・調査手法、具体的な論文構成や執筆ポイント等の実践的能力習得を図ります。
- 自主的かつ長期に渡る計画的取組みを通じて、前期に学んだロジカルシンキングの応用力を養えます。
- 発表に向けた内容検証等をグループワークやディベート等アクティブラーニングを通じて制作内容の深化を図り、更に複数回の発表を通じたプレゼン力の醸成を図る事ができます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目で、ファッションビジネス・マネジメントコースの必修科目です。

フィードバック (試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用) 方法

企業研究、調査、査読、論文制作、プレゼン資料作成等において個別指導を通じて、各種フィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

指定教科書なし、必要に応じ学習資料を随時配布していきます。

参考文献

大村邦年著 「ファッションビジネスの進化」 晃洋書房、また授業に関連した参考文献を随時紹介します。

オフィスアワー・研究室

授業前後 1 時間、3402教室

備考

授業の進行状況により、スケジュール及び授業内容が変更される場合があります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容 (予習・復習等)	必要時間
1回 鈴/山	オリエンテーション 全体スケジュールや要点の確認	予習：シラバスの確認 復習：前期の研究計画書のチェック	30分
2回 鈴/山	卒業論文 企業研究 調査・研究、個別ミーティング	予習：研究先企業のリストアップ 復習：企業概要の確認	40分
3回 鈴/山	卒業論文 企業研究 調査・研究、個別ミーティング	予習：研究先企業の調査 復習：各自の個別課題の整理	40分
4回 鈴/山	卒業論文 企業研究 調査・研究、個別ミーティング	予習：研究先企業の調査 復習：各自の個別課題の整理	40分
5回 鈴/山	卒業論文 制作ポイント確認 調査・研究、個別ミーティング	予習：制作ポイントの整理と資料確認 復習：各自の個別課題の整理	40分
6回 鈴/山	卒業論文 中間チェック 提出 査読、プレゼン資料制作、個別ミーティング	予習：査読準備 復習：各自の個別課題の整理	40分
7回 鈴/山	卒業論文 中間チェック 提出 査読、プレゼン資料制作、個別ミーティング	予習：査読準備 復習：各自の個別課題の整理	40分
8回 鈴/山	卒業論文 プレゼン資料計画 プレゼン資料作成、プレゼン準備、個別ミーティング	予習：プレゼンコンテンツ整理 復習：各自のプレゼン資料の課題整理	40分
9回 鈴/山	卒業論文 プレゼン資料計画、査読確認 プレゼン資料作成、プレゼン準備、個別・査読戻りミーティング	予習：プレゼン用調査資料の整理 査読戻りの読み込み 復習：各自の査読課題整理	60分
10回 鈴/山	卒業論文 プレゼン資料計画、査読確認 プレゼン資料作成、プレゼン準備、個別・査読戻りミーティング	予習：プレゼンの全体概要の整理 査読戻りの読み込み 復習：各自の査読課題整理	60分
11回 鈴/山	卒業論文 プレゼン計画 プレゼン資料作成、プレゼン準備、個別ミーティング	予習：プレゼンの全体概要の整理 復習：各自のプレゼン資料の課題整理	60分
12回 鈴/山	卒業論文 プレゼン計画 プレゼン資料作成、プレゼン準備、個別ミーティング	予習：プレゼンの全体概要の整理 復習：各自の総合的な課題整理	60分
13回 鈴/山	卒業論文：コース内プレゼン・ポイント確認	予習：プレゼン準備・対象論文要旨確認 復習：各自の総合的な課題整理	60分
14回 鈴/山	卒業論文：コース内プレゼン・ポイント確認	予習：プレゼン準備・対象論文要旨確認 復習：各自の総合的な課題整理	60分
15回 鈴/山	卒業論文：学習のまとめ、全体振り返り、記録	予習：制作物意見交換準備 復習：論文の総合確認・整理	30分

顧客関係論

三宅 洋基

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 4年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

社会の成熟化、テクノロジーの進化、価値観の変化に伴い、ファッション・アパレルの世界における「顧客との関係性」も大きな変化のうねりの中にある。ファッション・アパレルの世界を「憧れる対象」から「自身がイノベーションに關する対象」として捉えるべく「三人称（他者）視点」と「批判的視点」の重要性を、講義と演習を通じて学んでいく

到達目標（学修成果）

1. 企業と顧客との関係性構築（CRM）の基本的な考え方を理解している
2. 企業と顧客の関係性を構築するためのアプローチ・手法について理解をしている
3. 企業と顧客との関係のビジネス観点での大きなトレンド・トピックを理解しており、自分で柔軟な発想をもってアイデアを考えられる

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、卒業要件科目・学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマポリシーに即した必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各回レポートは次回の授業時に返却、講評する。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

特になし

参考文献

特になし

オフィスアワー・研究室

特になし

備考

特になし

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 三宅	「オリエンテーション・講義計画・小ディスカッション」 「あなたの好きなファッションブランドとその理由」	左記テーマにつきアイデアを考えてくる。当日紹介頂く	30分
2回 三宅	「ファッション業界の今・未来を見据える」	復習 レポート提出	30分
3回 三宅	「顧客は誰？・何を考えている？（1）」	復習 レポート提出	30分
4回 三宅	「顧客は誰？・何を考えている？（2）」	復習 レポート提出	30分
5回 三宅	「目指すべき顧客との関係性とは？」	復習 レポート提出	30分
6回 三宅	「どのようにその関係を築くか？（1）提供価値」	復習 レポート提出	30分
7回 三宅	「どのようにその関係を築くか？（2）アプローチ・チャネル」	復習 レポート提出	30分
8回 三宅	「どのように顧客との関係を維持・良好化するか？」	復習 レポート提出	30分
9回 三宅	「他の業界から学ぶ」	復習 レポート提出	30分
10回 三宅	「ケース議論」 ブランドのことを「好き」になる瞬間	左記テーマにつきアイデアを考えてくる。当日プレゼンを行う	30分
11回 三宅	「ケース議論」 ブランドのことを「嫌い」になる瞬間	左記テーマにつきアイデアを考えてくる。当日プレゼンを行う	30分
12回 三宅	「プレゼンテーション準備（1）」	事前にテーマ設定	60分
13回 三宅	「プレゼンテーション準備（2）」	事前に調査・分析を実施	60分
14回 三宅	「プレゼンテーション（1）」	プレゼンテーション実施準備	60分
15回 三宅	「プレゼンテーション（2）」	プレゼンテーション実施準備	60分

ファッションテック論

五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 4年 前期 必修 (2単位 講義)

授業の方針・概要

ファッション・テクノロジー（ファッションテック）の活用によるファッション業界の活性化が注目されています。日本においてもDX（デジタルトランスフォーメーション）やデータ分析の必要性が問われている中、テクノロジーの進化の中でも、生成AI、3DCG、メタバースの知識を深めます。授業は、ファッションテック関係の実務家による講義と、後半にはファッションに特化した生成AI「Maison AI」を利用してブランドを制作します。個人でのAIのブランド提案のプレゼンテーションを実施します。

到達目標（学修成果）

ファッションビジネスの変革期における、新しいテクノロジーの知識を得ること、生成AIの多様な技術を習得することを目標とします。そこから、卒業論文のテーマ策定を目指します。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマシーに即した必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

授業後にファッション業界の未来を考える課題を提出して、教員からのフィードバックや助言などをする。後半は生成AIを活用した、各学生が考えるブランドのプレゼンテーションを行い評価をする。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

必要時に資料を配布します。

参考文献

特になし

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーについては授業初日に伝えます。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室（第3校舎3207教室）
ファッションビジネス・流通イノベーション研究室（第3校舎3300室）

備考

日程及び内容は授業の進行具合に合わせて変更する事もあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 五月女	ファッションビジネスのDX（デジタルトランスフォーメーション）- ファッションテックの基本的な理解 -	予習：シラパスを読む	30分
2回 五月女	ファッションデジタル商品企画の未来 3DモデリングとCGの世界	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
3回 五月女	VR・メタバースなど仮想空間のファッションの未来 大丸松坂屋のVRCHATのアバター販売の事例	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
4回 五月女	バーチャルフィッティングの事例 ECを補完するテクノロジー	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
5回 五月女	インタラクティブ動画技術 Tig の導入事例 ファッションECとの取り組み	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
6回 五月女	ファッション業界におけるAIモデルの影響	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
7回 五月女	AIを活用したECでのスタイリングサービス DROBE、XZの事例	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
8回 五月女	生成AIを活用したアパレルスタッフのデジタル販売 AIQによるデジタルメイトの事例	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
9回 五月女	ビューティテック（株）アイスタイル編集部による 美容領域における先進テクノロジー事例	復習：考察事例について振り返り、課題レポートを作成する	30分
10回 五月女	生成AI（MaisonAI）によるトレンド分析 自分のAIクローンを作る	復習：考察事例について振り返り、課題を作成する	30分
11回 五月女	生成AI（MaisonAI）を使用して自分のブランドを制作する ターゲット顧客の分析とペルソナ設定	復習：考察事例について振り返り、課題を作成する	30分
12回 五月女	生成AI（MaisonAI）を使用して自分のブランドを制作する ブランド名、ロゴ、世界観の検討	復習：考察事例について振り返り、課題を作成する	30分
13回 五月女	生成AI（MaisonAI）を使用して自分のブランドを制作する 画像AI生成を活用したデザインイメージの創出	復習：考察事例について振り返り、課題を作成する	30分
14回 五月女	生成AI（MaisonAI）を使用して自分のブランドを制作する ブランドコンセプトブック作成	復習：考察事例について振り返り、課題を作成する	90分
15回 五月女	発表とまとめ	まとめの発表をすることで、授業全体を振り返る	30分

卒業論文（イノベーション）

五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 4年 前期 必修（2単位 演習）

授業の方針・概要

ファッション業界における4つのグループ「Eコマース」「リテールDX」「デジタル・マーケティング」「ファッションテック」「ファッションとデジタル社会」という「大分類」から、学生の関心に基づいて生成AI（Maison AI）を活用し、キーワードを抽出して「中分類」に落としこみます。参考文献、論文、最新の記事等を見つけ、「小分類」から各自の卒業論文に向けてテーマを定めます。その後、仮説と研究計画書を立案し、後期の論文完成に向けて論文全体の構成決定、学生個別の企業インタビューやアンケート調査の交渉を実施しながら、一次情報を重視した卒業論文の執筆を学修します。

到達目標（学修成果）

ファッションビジネスへの関心を、MaisonAIと学生間の議論を往復させ深掘りし、プレゼンテーションを行うアクティブラーニングです。AIを「思考のパートナー」として曖昧な関心を言語化し、先行研究の探索と整理を経て研究テーマを絞り込みます。卒業論文作成の基礎に加え、AIと共に知を体系化するスキル、加えてファッションビジネスを論理的に分析と考察する、社会で通用する知力を養います。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマシーに即した必修科目です。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各自のテーマ決定までの課題提出・発表でコメントやアドバイスを提言し、卒業論文執筆までのサポートをしていきます。レポート、論文に関する提出物はすべてポートフォリオに提出をし、教員からのフィードバックをしていきます。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	30%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	40%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

特になし。

参考文献

教員作成の「論文の手引き」「卒業生の要旨」を全員に渡して参考にします。テーマに合わせて紹介していきます。

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーについては授業初日に伝えます。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室（第3校舎3207教室）ファッションビジネス・流通イノベーション研究室（第3校舎3300室）

備考

生成AI（MaisonAI）や図書館を積極的に活用していきます。最新のネット記事などはデータ共有していきます。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 五月女	卒業論文を書くにあたって 年間スケジュールの確認 授業の進め方と最終発表の方法、論文規定の確認	予習：シラバスを読む 復習：論文の手引きを読む	30分
2回 五月女	流通イノベーションコースの論文の考え方 大分類の中で具体的事例を紹介、各自のテーマ設定の基本	復習：各自の課題を整理してまとめる	30分
3回 五月女	過去の卒業論文や要旨の紹介、論文の構成の理解 興味関心をもつテーマ設定を授業内で探す	復習：各自の課題でネット検索などの準備をする	60分
4回 五月女	先行研究の調査、図書館への訪問、参考文献を見つける、 記事や画像検索のまとめ	予習：ネット検索などの課題提出	60分
5回 五月女	「小分類」から各自のテーマ設定を決定する。	予習：ネット検索などの準備をする	30分
6回 五月女	Wordの活用使用方法 レイアウト、脚注、図表番号、校閲、ヘッター等について	復習：PCの課題提出	60分
7回 五月女	調査方法 アンケート調査とインタビューの方法について（一次情報）	復習：各自の課題を整理してまとめる	60分
8回 五月女	仮説の決定と提出	復習：各自の課題を整理してまとめる	60分
9回 五月女	研究計画(スケジュール)の決定と提出 及びインタビュー企業の調整、アンケート調査の相談	復習：各自の課題を整理してまとめる	30分
10回 五月女	卒業論文の仮説と研究計画の発表 個人プレゼンテーション	復習：各自の課題を整理してまとめる	60分
11回 五月女	執筆開始 「はじめに」執筆動機を明確にする	復習：各自の課題を整理してまとめる	90分
12回 五月女	執筆開始 「序章」先行研究を文章にする	予習：各自の課題を整理して発表準備をする	90分
13回 五月女	執筆開始 「序章」から「1章」までを執筆する	復習：各自の課題を整理してまとめる	60分
14回 五月女	まとめ 進捗状況の報告と今後の計画（プレゼンテーション）	復習：各自の執筆状況をまとめる	90分
15回 五月女	まとめ 進捗状況の報告と後期執筆にあたり夏休みの課題	復習：各自の執筆状況から課題を提出 （夏休みの課題）	90分

卒業論文 (イノベーション)

五月女 由紀子

服飾学科 ファッションビジネス・流通イノベーションコース 4年 後期 必修 (2単位 演習)

授業の方針・概要

前期の卒業論文で設定した各自の研究テーマ・仮説に基づき、検証方法を確定して論文執筆を進めます。各自のテーマに沿った関連業界の現場担当者へのインタビューとアンケート調査(一次情報)や、論文に関する記事や文献など(二次情報)に関してアドバイスしていきます。Maison AIも調査に活用します。論文を完成した後に、教員による査読と最終の論文データ提出をします。卒業論文発表会に向けて、卒論要旨の作成とプレゼンテーションを行い、ファッションビジネス・流通イノベーションコースに関する学びの集大成とします。

到達目標(学修成果)

卒業論文の作成計画に基づき、最終原稿を完成させることにより、論文作成技術を身に付けます。ファッションビジネスにおけるデジタル専門性を追究することで、社会で役立つ知識を身に付けます。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は卒業要件科目、学位授与科目です。流通イノベーションコースのディプロマシーに即した必修科目です。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

卒業論文の執筆にあたり、テーマに関する情報共有をしながら、個々に指導していきます。論文に関する課題は毎週進捗状況をポートフォリオに提出をします。教員はそこからフィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

特になし

参考文献

教員作成の「論文の手引き」を配布して執筆の参考にします。

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーについては授業初日に伝えます。ファッションビジネス・流通イノベーション実習室(第3校舎3207教室)ファッションビジネス・流通イノベーション研究室(第3校舎3300室)

備考

最新のネット記事などは教員と学生とデータ共有していきます。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 菊原	前期「卒業論文」終了後の論文執筆の状況確認 論文完成と要旨作成、卒業論文発表までの日程確認	予習: 夏休みの執筆状況のまとめ	90分
2回 菊原	論文の構成の再確認と章立ての完成	復習: 各自の論文執筆	60分
3回 五月女	アンケート調査・インタビュー調査実施、まとめ	復習: 各自の論文執筆	60分
4回 菊原	論文の考察と結論の完成	復習: 各自の論文執筆	60分
5回 五月女	論文の考察と結論の完成	復習: 各自の論文執筆	60分
6回 五月女	論文の脚注や図表番号など完成 参考文献のまとめ	復習: 各自の論文執筆	60分
7回 五月女	卒業論文 第1稿の完成と提出	予習: 各自の論文執筆	90分
8回 五月女	論文要旨の作成と提出(1200文字)	予習: 各自の論文要旨の準備	60分
9回 菊原	卒業論文 教員による査読アドバイスに従って修正	復習: 各自の論文執筆	60分
10回 五月女	卒業論文 教員による査読アドバイスに従って修正	復習: 各自の論文執筆	60分
11回 菊原	卒業論文完成、印刷と製本作業 要旨の修正	復習: 各自の要旨執筆	60分
12回 五月女	要旨集 表紙デザイン・印刷完成	予習: 各自の発表準備	60分
13回 五月女	発表用スライド(パワポ)作成・完成	予習: 各自の発表準備	90分
14回 菊原	卒業制作・論文発表会のリハーサル	予習: 各自の発表準備	60分
15回 五月女	卒業制作・論文発表会のリハーサル まとめ	予習: 各自の発表準備	60分

ファッション3Dモデリング

羽賀 友美、高橋 芽衣

服飾学科 モードクリエイションコース・インダストリアルパターンコース

4年 前期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ファッション業界でCGを利用した3Dモデリングの活用が増えている。クロスシミュレーションソフト(CLO)を使ったファッション3Dモデリングの基礎的な知識や技術を学修します。ファッション3Dモデリストという新しいクリエイターの育成に向け、デジタルでのファッション造形・表現が可能になるように指導していきます。

到達目標(学修成果)

CLOの基本操作を身に着け、軽衣料(シャツ、スカート)のモデリングができるようになります。フィジカル(現実世界)との違いを理解し、デジタルでのファッション表現の可能性を広げることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目で専門選択科目の単位です。服飾関係の専門的職業で活かせるデジタルモデリングの基礎力を培います。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内で課題を点検し、その場でコメント、フィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

配布プリント

参考文献

ファッション3Dモデリスト検定3級(CLO編)織研新聞社

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業時に伝えます。研究室：3211教室(第3校舎2F)

備考

3DCGソフトは授業の教室内でしか使えない為、欠席しないようにしてください。日程及び内容は授業進度により変更することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 羽・高	モデリング基本操作 画面操作、パターン配置練習 ネットの著作権等について	予習：シラバスを読む 復習：授業で学んだネット情報を確認	30分
2回 羽・高	モデリング基本操作 縫い合わせ設定練習	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
3回 羽・高	モデリング基本操作 着せ付け、生地操作	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
4回 羽・高	モデリング ギャザースカート	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
5回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
6回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
7回 羽・高	モデリング トップス	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
8回 羽・高	モデリング プリーツスカート(折り曲げ表現)	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
9回 羽・高	ディテール(ファスナー、ステッチ)	予習：副資材について調べる	30分
10回 羽・高	パターン編集(デザイン変更・パターン展開)	予習：パターン展開について調べる	30分
11回 羽・高	コーディネート(レイヤー設定、配色)	予習：着用時の服の重なりについて調べる	30分
12回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
13回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
14回 羽・高	課題製作 レンダリング、提出	予習：ポージングやレイアウトについて調べる	30分
15回 羽・高	プレゼンテーションを行い、アクティブラーニングでお互いに意見交換を行う。講評	予習：プレゼンテーションの練習	30分

ファッション3Dモデリング

羽賀 友美、高橋 芽衣

服飾学科 モードクリエーションコース・インダストリアルパターンコース

4年 後期 選択 (2単位 演習)

授業の方針・概要

ファッション3Dモデリング で学んだ基礎から発展させ、服の構造やリアルな表現ができるモデリングの知識と技術を学修します。ポーズ、ライティング、構図を決めて静止画でのレンダリングまでを行い、デジタルでのファッション表現力を高めます。クロスシミュレーションソフトCLOを使用します。

到達目標(学修成果)

CLOの応用操作を身に着け、パンツ、重衣料(ジャケット、コート)のモデリングができるようになります。フィジカル(現実世界)との違いを理解し、デジタルでのファッション表現を広げ、提案できるようになることを目標とします。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

卒業要件科目で専門選択科目の単位です。服飾関係の専門的職業で活かせるデジタルモデリングの基礎力を培います。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

授業内で課題を点検し、その場でコメント、フィードバックを行います。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

配布プリント

参考文献

ファッション3Dモデリスト検定3級(CLO編) 織研新聞社

オフィスアワー・研究室

オフィスアワーは初回授業時に伝えます。研究室：3211教室(第3校舎2F)

備考

前期ファッション3Dモデリング の単位取得者のみ履修できます。
3DCGソフトは授業の教室でしか使えない為、欠席しないようにしてください。
日程及び内容は授業進度により変更することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 羽・高	モデリング基本操作の復習 モデリング パンツ	予習：シラパスを読む	30分
2回 羽・高	モデリング パンツ	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
3回 羽・高	コーディネート	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
4回 羽・高	モデリング ジャケット	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
5回 羽・高	モデリング ジャケット	復習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
6回 羽・高	モデリング ダウンコート	予習：ダウンコートについて調べる	30分
7回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
8回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
9回 羽・高	課題製作 モデリング	予習：パターンの形、フィジカルでの縫い合わせを確認する	30分
10回 羽・高	課題製作 テクスチャ設定、配色	予習：素材について調べる	30分
11回 羽・高	課題製作 アバター編集、ポージング	予習：ポージングについて調べる	30分
12回 羽・高	課題製作 構図決め、ライティング	予習：写真撮影の構図について調べる	30分
13回 羽・高	課題製作 レンダリング	予習：写真撮影の構図について調べる	30分
14回 羽・高	課題製作 まとめ、提出	復習：プレゼンテーション前までに完成させ、提出する。	30分
15回 羽・高	プレゼンテーションにより、学習成果を提示しアクティブラーニングによる意見による改善を目指す。教員講評	予習：プレゼンテーションの練習	30分

教育実習（事前事後指導を含む）

白井 勝美

服飾学科 4年 通年(前期) 選択 (5単位 演習/実験実習)

授業の方針・概要

前半においては、「中学校・高等学校の实地教育実習」に向けての事前指導に充てる。具体的には「实地教育実習」のプロセスを知り、自ら積極的に計画を立て、予想される実践に備える。後半においては「实地教育実習」の経験を振り返る。また事後指導は「教職実践演習」に引き継がれる。

到達目標（学修成果）

- 「实地教育実習」に向けての準備内容を知る。
- 「实地教育実習」の目的・活動を知るとともに「教員」としての意識向上が図れる。
- 「教育実習報告会」へ向けての準備活動や自己評価・他者評価を通して、「教員」としての適性を知る。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、教職課程科目で卒業要件科目ではありません。教職課程履修者必修科目であるが、ディプロマポリシーで謳われている、社会人としての資質、能力の向上の一助となると考えている。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

「教育実習報告会」用「資料集」を各自が作成するが、その添削を通して指導を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

担当教員作成プリント資料を配付する。

参考文献

授業時に指示する。

オフィスアワー・研究室

前期・後期 水曜日(11時00分～14時00分 教務課) ・研究室 教育実習研究室(研究棟4階)

備考

成績評価の詳細 授業態度・姿勢20% 日誌・提出課題10% 教育実習校評価50% 報告会・報告会準備評価10%
 「实地教育実習」への要件を満たしていない場合は、「实地教育実習」は実施出来ない。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 白井	授業オリエンテーション・諸連絡 「教育実習」の意義	復習:「教育実習」の意義については、必ず見直し、暗唱しておくこと。	30分
2回 白井	ビデオ『教育実習』(公立高等学校編)視聴	復習:授業資料を見直す。実習校連絡	30分
3回 白井	ビデオ『教育実習』(公立中学校編)視聴	復習:授業資料を見直す。	30分
4回 白井	ビデオ視聴のつづき 実習校オリエンテーションについて	準備:実習校にオリエン等の確認をする	30分
5回 白井	『教育実習日誌』の書き方 「訪問分担」発表	復習:「教育実習に臨むにあたって」の記述作業を行う。	60分
6回 白井	直前指導(杉野服飾大学教育実習の心得)	復習:实地教育実習に向けて最終準備を行う。	90分
7回 白井	実習実施者以外は自宅学習 (この回数分は後期に実施)	自宅待機者(学習者)は、これまでの授業資料を振り返る。実習の準備を行う	60分
8回 白井	実習実施者以外は自宅学習 (この回数分は後期に実施)	自宅待機者(学習者)は、これまでの授業資料を振り返る。実習の準備を行う	60分
9回 白井	実習実施者以外は自宅学習 (この回数分は後期に実施)	自宅待機者(学習者)は、これまでの授業資料を振り返る。実習の準備を行う	60分
10回 白井	実習実施者以外は自宅学習 (この回数分は後期に実施)	自宅待機者(学習者)は、これまでの授業資料を振り返る。実習の準備を行う	60分
11回 白井	実施者からの「実習」感想 Active Learningディスカッション 「報告会」準備の開始	予習:教育実習関係報告書の記述と提出準備をする。	60分
12回 白井	「報告会」準備 報告会の企画と各自の実習報告 Active Learningディスカッション	教育実習関係報告書の記述の継続。報告会資料作成の検討を行なう。	60分
13回 白井	「報告会」準備 係分担の決定 各自の報告書の作成 Active Learningディスカッション	予習:報告会口頭発表の準備を行なう。	60分
14回 白井	「報告会」準備 口頭発表他の準備 発表内容の精査と教職適正判断等 Active Learningディスカッション	復習:報告会口頭発表の準備を行なう。	60分
15回 白井	「報告会」準備 報告書の作成継続 今後の作業確認 「報告会」は後期に実施する	復習:後期報告会に向けての準備を継続する。	60分

教職実践演習（中等）

白井 勝美

服飾学科 4年 後期 選択（2単位 演習）

授業の方針・概要

本授業は「教員免許状取得のための教職課程完結演習」と位置付ける。

「教育実習報告会」の準備を行う。履修開始段階から作成した「教職課程履修カルテ（ポートフォリオ）」の整理と今後の課題をまとめる。実習経験を踏まえて、改めて教科（「家庭」）教育法の指導法を考える。「教員」の使命等について、教科外教育も含めて改めて考える。授業全体を通して、自らの教員としての資質を考える。授業形態は、講義だけではなく一部Active Learningを取り入れている。

到達目標（学修成果）

実地教育実習の体験のまとめが出来たか。4年間で教育実践力を身に付けることが出来たか。

4年間で（教育及び教材等の）研究的態度を養うことが出来たか。最終学年で自らの教員としての資質を判断することが出来たか。この4点について、自己評価を通して今後身に付けるべきことを確認する。

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

この科目は、教職課程科目で卒業要件科目ではありません。教職課程履修者必修科目ですが、ディプロマポリシーで謳われている、社会人としての資質、能力の向上の一助となると考えている。

フィードバック（試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用）方法

各自の「研究授業報告」を通して、実施者全員で内容の確認と改善点を意見交換する。

「教職課程ポートフォリオ」への助言を行う。

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	50%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	20%
外部評価・検定試験結果	%

教科書

担当教員が資料を作成する。

参考文献

必要に応じて提示する。

オフィスアワー・研究室

前期 水曜日（11時00分～14時00分） 後期 水曜日（11時00分～14時00分）いずれも教務課

備考

成績評価の方法・基準～教員として必要な知識・技能、教員免許取得に向けての姿勢を確認する。なお、総合評価は教職委員会メンバーで最終確認する。・教育実習報告会関連 ・カルテ（ポートフォリオ）も評価に含める

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容（予習・復習等）	必要時間
1回 白井	前期科目「教育実習」の事後指導に引き続き「教育実習報告会」に向けての指導を実施する（資料集の作成他）	予習：資料集の下書きと清書を行なう	60分
2回 白井	「教育実習報告会」に向けての指導を実施する（資料集作成と発表準備）	予習・復習：資料集の作成を継続する。口頭発表準備を行なう	60分
3回 白井	「教育実習報告会」に向けての指導を実施する（資料集の作成他 発表準備）	予習：資料集の完成を目指す。指定枚数の印刷を行なう。口頭発表の準備を行なう	60分
4回 白井	「教育実習報告会」に向けての指導を実施する（口頭発表リハーサル）予習・復習：口頭発表準備を行なう。	予習・復習：口頭発表準備を行なう。	60分
5回 白井	「教育実習報告会」に向けての指導を実施する（口頭発表リハーサル）	予習・復習：口頭発表準備を行なう。	60分
6回 白井	「教育実習報告会」の開催 発表 ディスカッション	予習：個人発表準備と役割分担と仕事内容の確認を行なう。	60分
7回 白井	外部指導者（弁護士）特別授業	復習：特別授業内容を振り返る	30分
8回 白井	外部指導者（元警察署長）特別授業	復習：特別授業内容を振り返る	30分
9回 白井	外部指導者（他大学教員）特別授業	復習：特別授業内容を振り返る	30分
10回 白井	各自の研究授業報告を通して、指導力の確認と改善点について意見交換を行う	予習：担当者は資料を作成し報告の準備をする	30分
11回 白井	各自の研究授業報告を通して、指導力の確認と改善点について意見交換を行う	予習：担当者は資料を作成し報告の準備をする	30分
12回 白井	「教職課程ポートフォリオ」の整理を目指す。これまでの学修について意見交換を行なう	予習：ポートフォリオ保管物の整理	30分
13回 白井	「教職課程ポートフォリオ」の整理を目指す。これまでの学修について意見交換を行なう	予習：ポートフォリオ保管物の整理	30分
14回 白井	「教職課程ポートフォリオ」の最終作業を行なう。	予習：ポートフォリオ保管物の整理	30分
15回 白井	教職課程完結演習としてのまとめ 最終レポート作成 「教職課程ポートフォリオ」を完成させる	復習：各自「教職課程ポートフォリオ」を持ち帰り保管する。	30分

博物館実習

落合 広倫

服飾学科 4年 通年(前期) 選択 (3単位 実験実習)

授業の方針・概要

学芸員資格課程で学んだ知識をもとに、実際の博物館実務に必要な技術習得を目的とする。また、学外調査および実習旅行を行い、博物館を取り巻く現状と課題を把握するとともに、学芸員を目指す上での資質向上を目指す。

到達目標(学修成果)

博物館実務に関する知識・技術の習得

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき博物館に関する科目の単位の一つ。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

製作物・技術習得についての講評

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

指定なし。内容に即した資料を配布します。

参考文献

随時紹介します。

オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

連絡：大学校舎講師控え室 又は 教務課(本校舎1階) 出講日：土曜日

備考

授業計画は進行状況によって前後することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 落合	オリエンテーション(博物館実習の概要説明・授業計画)	予習：シラバス確認	30分
2回 落合	グループワーク(博物館の展覧会を企画する)	予習：プレゼンテーション準備	30分
3回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
4回 落合	拓本用墨作成	予習：調査 準備	30分
5回 落合	グループワーク(ミュージアムグッズを考える)	予習：プレゼンテーション準備	30分
6回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
7回 落合	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	30分
8回 落合	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	30分
9回 落合	2次資料作成(拓本をとる)	復習：実習内容 振り返り	30分
10回 落合	2次資料作成(拓本をとる)	復習：実習内容 振り返り	30分
11回 落合	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	30分
12回 落合	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	30分
13回 落合	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	30分
14回 落合	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	30分
15回 落合	実習旅行準備、前期まとめ	予習：調査準備	30分

博物館実習

落合 広倫

服飾学科 4年 通年(前期) 選択 (3単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
17回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
18回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
19回 落合	実習旅行報告会	復習：報告会 振り返り	30分
20回 落合	2次資料作成(裏打ち)	復習：実習内容 振り返り	30分
21回 落合	2次資料作成(裏打ち)	復習：実習内容 振り返り	30分
22回 落合	2次資料作成(額装仕立て)	復習：実習内容 振り返り	30分
23回 落合	グループワーク(博物館ワークショップを考える)	予習：調査 準備	30分
24回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
25回 落合	資料取扱(紙資料)	復習：実習内容 振り返り	30分
26回 落合	資料取扱(金工品)	復習：実習内容 振り返り	30分
27回 落合	資料の梱包方法	復習：実習内容 振り返り	30分
28回 落合	資料の保存方法(脱酸素処理)	復習：実習内容 振り返り	30分
29回 落合	資料の修復方法	復習：実習内容 振り返り	30分
30回 落合	まとめ・実習室清掃	復習：振り返り(まとめ)	30分

博物館実習

落合 広倫

服飾学科 4年 通年(後期) 選択 (3単位 実験実習)

授業の方針・概要

学芸員資格課程で学んだ知識をもとに、実際の博物館実務に必要な技術習得を目的とする。また、学外調査および実習旅行を行い、博物館を取り巻く現状と課題を把握するとともに、学芸員を目指す上での資質向上を目指す。

到達目標(学修成果)

博物館実務に関する知識・技術の習得

卒業認定・学位授与の方針と該当授業科目の関連

学芸員資格取得(大学を卒業して学士の学位を取得して学芸員になるための資格を取得する方法)のために、文部科学省令の定める大学で習得すべき博物館に関する科目の単位の一つ。

フィードバック(試験の解説、試験・レポート添削返却、メールや学内システム等の活用)方法

製作物・技術習得についての講評

成績評価の方法・基準

授業態度・姿勢	30%
授業内試験・課題(プレゼンテーション含む)	70%
期末試験・課題(プレゼンテーション含む)	0%
外部評価・検定試験結果	0%

教科書

指定なし。内容に即した資料を配布します。

参考文献

随時紹介します。

オフィスアワー・研究室

講義日の講師控室、もしくは教務課を通じて連絡をしてください。

連絡：大学校舎講師控え室 又は 教務課(本校舎1階) 出講日：土曜日

備考

授業計画は進行状況によって前後することがあります。

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	必要時間
1回 落合	オリエンテーション(博物館実習の概要説明・授業計画)	予習：シラバス確認	30分
2回 落合	グループワーク(博物館の展覧会を企画する)	予習：プレゼンテーション準備	30分
3回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
4回 落合	拓本用墨作成	予習：調査 準備	30分
5回 落合	グループワーク(ミュージアムグッズを考える)	予習：プレゼンテーション準備	30分
6回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
7回 落合	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	30分
8回 落合	実習旅行事前調査	復習：調査内容 振り返り	30分
9回 落合	2次資料作成(拓本をとる)	復習：実習内容 振り返り	30分
10回 落合	2次資料作成(拓本をとる)	復習：実習内容 振り返り	30分
11回 落合	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	30分
12回 落合	封入標本作成	復習：実習内容 振り返り	30分
13回 落合	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	30分
14回 落合	資料の展示方法	復習：実習内容 振り返り	30分
15回 落合	実習旅行準備、前期まとめ	予習：調査準備	30分

博物館実習

落合 広倫

服飾学科 4年 通年(後期) 選択 (3単位 実験実習)

授業計画

回数	授業内容	準備学修	
		具体的内容(予習・復習等)	
16回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
17回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
18回 落合	実習旅行報告会準備	予習：調査準備	30分
19回 落合	実習旅行報告会	復習：報告会 振り返り	30分
20回 落合	2次資料作成(裏打ち)	復習：実習内容 振り返り	30分
21回 落合	2次資料作成(裏打ち)	復習：実習内容 振り返り	30分
22回 落合	2次資料作成(額装仕立て)	復習：実習内容 振り返り	30分
23回 落合	グループワーク(博物館ワークショップを考える)	予習：調査 準備	30分
24回 落合	グループプレゼンテーション	復習：グループワーク 振り返り	30分
25回 落合	資料取扱(紙資料)	復習：実習内容 振り返り	30分
26回 落合	資料取扱(金工品)	復習：実習内容 振り返り	30分
27回 落合	資料の梱包方法	復習：実習内容 振り返り	30分
28回 落合	資料の保存方法(脱酸素処理)	復習：実習内容 振り返り	30分
29回 落合	資料の修復方法	復習：実習内容 振り返り	30分
30回 落合	まとめ・実習室清掃	復習：振り返り(まとめ)	30分